

～ 12月7日は “世界KAMISHIBAIの日” ～

「紙芝居文化の会和歌山」とのコラボ企画 日本独自の文化である紙芝居を楽しむイベントを開催

「聞く力」「共感力」「想像力」「国語力」「文章力」を育む紙芝居を気軽に楽しめる機会を

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」（和歌山県海南市）は、「紙芝居文化の会和歌山」とのコラボ企画として、日本独自の文化である紙芝居を楽しむイベント「世界KAMISHIBAIの日 in KAINAN」を12月7日（木）、ノビノスホールにて開催します。今回は4つのテーマの作品上演を予定しており、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただける内容です。「聞く力」「共感力」「想像力」「国語力」「文章力」の5つの力を育むと言われる紙芝居を気軽に楽しみ、絵本や本への興味にもつながればと願い企画しました。

紙芝居と世界KAMISHIBAIの日

紙芝居は、1930年頃、日本で生まれた日本独自の文化です。1950年代から作家による出版作品として発展し、児童文化として確立していき、今、世界へと広がり始めています。「紙芝居文化の会」は2001年に誕生、地域団体である「紙芝居文化の会和歌山」は運営委員を務める池田光子さんなど紙芝居文化を愛する人が中心となり、2020年頃から活動しています。12月7日の「世界KAMISHIBAIの日」は、紙芝居文化の会の呼びかけで2018年から始まりました（日本記念日協会認定済）。紙芝居は、演じ手と観客が同じ空気の中で物語の世界を共有することで「聞く力」「共感力」「想像力」を養い、良質な言葉のシャワーを浴びることで、「国語力」「文章力」が向上する効果があると言われてしています。

幅広い世代に向け多様なテーマを上演

海南nobinosは、図書館に來たり本を手にとったりするきっかけを作りたいという思いを形にするため一貫して取り組んでいます。画面が一方的に進んでいくテレビや映画と異なり、対面式の紙芝居は、演者が子どもたちの様子を見ながらやりとりをしたり、補ったりしながら進めていくことが出来ることから、絵本や本へと興味をつなぐ教材としてもふさ

12月7日は「世界 KAMISHIBAI の日」です。世界KAMISHIBAIの日とは、紙芝居文化の会和歌山が主催する、紙芝居を愛する人たちと一緒に、日本中、世界中で紙芝居を楽しみ、楽しみましょう。そして、共に生きるための共感の世界を広げていきましょう。

2023
12月7日(木)
10:30開演12:00まで
2部13:30開演16:00まで

会場 海南nobinosホール

予約不要、画相会場にお越しください。出入り自由です！

参加無料

プログラム

11:00～12:00
0才から3才の子たちに紙芝居を
●はーい ●ころころしゃぼーん
●ごんごんごんごん ●あひなごんごん
●おやわりのやまのぼん ●ふしぎなごん
●せもちゃんのおひげせん
●ごんごんごんごん(大団)

14:00～
おすすめ紙芝居をどうぞ
●へんしーん ●つよよめがね
●にじになったきつね ●おが勢さんのほなし
●ロボットカミイ ●おが勢さんのほなし
●ロボットカミイ ●おが勢さんのほなし

15:00～
大団紙芝居
●おとうさん ●ごきげんのわるいコックさん
●おが勢 ●おが勢 ●おが勢

15:30～
大団紙芝居
●おとうさん ●ごきげんのわるいコックさん
●おが勢 ●おが勢 ●おが勢

※演じる団体は、当日発表になる場合がございます。

共催／紙芝居文化の会和歌山 TEL. 073-461-6062(混線)



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南（担当：兼高・西岡）

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6

E-mail: lib.trc.kainan@mail.trc.co.jp

池田氏による紙芝居上演の様子

TEL：073-483-8739 FAX：073-483-8738

HP <https://kainan-nobinos.jp/>

わしいと考え当イベントを企画しました。

当日は、第22回五山賞作家賞画家賞作品で、子どもたちの声の参加で進行する楽しい参加型紙芝居『**おおきく おおきく おおきくなあれ**』のほか、「0才から3才の子たち」「おすすめ紙芝居」「平和のために」「大型紙芝居」の4つのテーマを時間帯で分け、たくさんの作品の上演を予定しています。

参考

■世界KAMISHIBAIの日 in KAINAN

日時：2023年12月7日（木）

1部10時30分開場12時00分まで

2部13時30分開場16時00分まで

場所：2F ノビノスホール

予約：予約不要、出入り自由

対象：年齢制限なし

参加費：無料

プログラム：

11時00分～ 0才から3才の子たちに紙芝居を

・はいい ・ころころじゃぼーん ・ごろんこつつんこ ・みんなでぽん ・おすわりやすい
すどっせ ・ふしぎなくなるま

・モモちゃんのおみせやさん ・こねこのしろちゃん（大型）

14時00分～ おすすめ紙芝居をどうぞ

・へんしーん ・つきよとめがね ・にじになったきつね ・おかあさんのはなし ・ロボット
カミィ ちびぞうのまき

・ロボットカミィ げきあそびのまき ・ロボットカミィ おみせやさんごっこ ・ロボットカ
ミィ ロボットのくにへかえるのまき

15時00分～ 平和のために

・象牙の櫛 ・平和のちかい

15時30分～ 大型紙芝居

・おとうさん ・ごきげんのわるいコックさん ・おおきく おおきく おおきくなあれ

※演じる作品は、当日変更になる場合もあります。



■「海南nobinos」施設概要

名称：海南nobinos（カインアン ノビノス）

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という

所在地：和歌山県海南市日方1525番地6

Access：JR海南駅より徒歩7分

開館時間：9:00～21:30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC海南

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 谷一文

子）

構成団体：株式会社明日香（本社：東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗）



：大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至）

施設内容：①図書館機能／蔵書冊数14万6662冊（うち絵本の冊数5万5564冊）＊2023年10月末時点 ②市民活動・生涯学習活動支援機能／ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ／スターバックス コーヒー 海南nobinos店（館内は全て蓋つき飲み物の利用可） ⑤広場

来館者数関西一 “賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります（日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2022」より）。



海南の伝統色で彩った館内の様子